

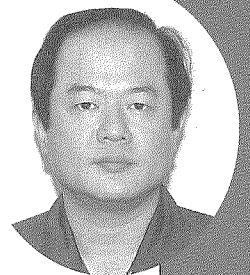
技術への挑戦を続け一〇〇年企業を目指す

新庄金属工業(株)

代表取締役社長

益山 利二

〈創業〉昭和三十五年
〈業種〉金属部品の精密機械加工
〈従業員〉三五名
〈本社〉東大阪市高井田中二・三・二六
〈電話〉〇六・六七八一・八〇〇〇



今年三月に大阪市生野区から本市の高井田に移転してきた当社。〃材質、サイズ、形状を問わずあらゆるものを切削加工できる技術〃で、自動車部品、空気圧部品、半導体装置部品、通信機器、ホビー用品など様々な分野で加工生産を行う。

元々は大量生産路線の経営を行っていた当社だが、平成十年から高い技術力を習得するために、ステンレス、タンガス、チタン等の難削材の複合加工の分野への進出を始めた。

「常に時代のニーズを読んで、半歩でもいいから他より先を行くために、景況に関わらず着実に設備投資を重ね、技術力の向上と新分野への挑戦を続けてきました。」と益山利二社長。

今後は風力・太陽発電などの環境分野やより高い技術力・品質力が求められる航空機・先端医療機器等の分野にも本格的な進出を目指すという。

また、従業員を大切に作る社風も当社の特長。利益の三分の一を成果報酬や決算賞与として従業員に配分させる仕組みを作り上げている。

モノづくり in Higashi Osaka

「会社は従業員とその家族の人生を輝かせるために存在します。技術を向上させ会社の継続・成長させることは、あくまでその目的を達成するための手段です」。この理念が従業員のモチベーションを向上させ、団結力を高めている。

今回の移転で工場の敷地面積はこれまでの四倍となる一六〇〇坪になり、工場内では約八〇m長い通路を挟んで、マシニングセンターやNC旋盤がずらりと並ぶ。西の出入り口から搬入された材料は通路に沿うように、加工、洗浄、仕上げ、検査工程へまっすぐに進められ、最後は完成品が東の出入り口から出荷することで流れがスムーズになり、生産性が向上し品質管理もしやすくなった。

〃ものづくりのまち東大阪で一〇〇年目を迎える〃というのが次世代も踏まえた社長の次の目標。先を見据えてさらなる技術力の向上に取り組んでいる。

